



ファームウェア バージョン :	R6.11.B034	
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-10	F1
	DGS-1210-10P	
	DGS-1210-10MP	
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	
	DGS-1210-28P	
	DGS-1210-28MP	
	DGS-1210-52	
発行日 :	2019/11/7	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
追加機能 :	10
MIB の変更点 :	10
修正した問題点 :	10
既知の問題 :	12

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R6.11.B034	2019/11/7	DGS-1210-10	F1
		DGS-1210-10P	
		DGS-1210-10MP	
		DGS-1210-20	
		DGS-1210-28	
		DGS-1210-28P	
		DGS-1210-28MP	
		DGS-1210-52	

アップグレード時の注意事項：

R6.10.B010 以降では、シリーズ共通のファームウェアイメージへと統合されたため、R6.10.B010 以降から古いバージョン（6.00.Bxxx）へのファームウェアダウングレードはサポートしておりません。

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

リンクアグリゲーション（LAG）、スパニングツリー（STP）を使用している場合は、ファームウェアアップグレードの操作中、DGS-1210 の動作が不安定になる可能性があるため、ネットワークから切り離して実施してください。

HTTPS 経由でのファームウェアアップグレードには対応していません。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI（Telnet 経由）、WebGUI または D-Link Network Assistant から実行することができます。

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download {firmware_fromTFTP {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename (64)> image_id <integer 1-2>	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。

config firmware image_id <integer 1-2> boot_up	ブートイメージを変更します。
show boot_file	スイッチの現在のブートイメージ ID 及びブート コンフィグ ID を表示します。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及び ブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

※V6.10.B010をご利用の場合、ファームウェアは現在のブートイメージとは別のイメージに適用されます。

※V6.00.B023をご利用の場合、image_idオプションを使用して適用するブートイメージIDを指定してください。

```
DGS-1210-52> download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS-1210-F1-SERIES-F1-6-11-B034.hex
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... 8 %
```

(2) 現在のブートイメージのIDを確認します。※V6.00.B023をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順

(2) ~ (5) は実施不要です。

```
DGS-1210-52> show boot_file
```

```
Bootup Firmware : image_1
```

```
Bootup Configuration : config_1
```

(3) ブートイメージを指定します。

```
DGS-1210-52> config firmware image_id 2 boot_up
```

(4) ブートイメージが変更されたことを確認します。

```
DGS-1210-52> show boot_file
```

```
Bootup Firmware : image_2
```

```
Bootup Configuration : config_1
```

(5) スイッチを再起動します。

```
DGS-1210-52> reboot
```

```
% Device will reboot, please wait a few minutes to re-login.
```

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

DGS-1210-52> show switch

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 0 hrs, 2 min, 31 secs
System Time	: 01/01/2017 00:02:19
System hardware version	: F1
System firmware version	: 6.11.B034
System boot version	: 1.00.009
System serial number	: QBDGS12105200
MAC Address	: 9C-D6-43-AA-58-77

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス : 10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード : admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

A screenshot of the 'Firmware Backup and Upgrade' web interface. The interface has a title bar with 'Firmware Backup and Upgrade' and a 'Safeguard' icon. There are two main sections: 'HTTP' and 'TFTP'. The 'HTTP' section is selected with a radio button. It contains fields for 'Backup firmware to file' (with a dropdown menu showing 'Image_id 1' and a 'Backup' button) and 'Upgrade firmware from file' (with a text input field, a '参照...' button, and an 'Upgrade' button). The 'TFTP' section is unselected. It contains fields for 'TFTP Server IP Address' (with a text input field and radio buttons for 'IPv4' and 'IPv6'), 'TFTP File Name' (with a text input field), 'Backup firmware to file' (with a dropdown menu showing 'Image_id 1' and a 'Backup' button), and 'Upgrade firmware from file' (with a text input field and an 'Upgrade' button').

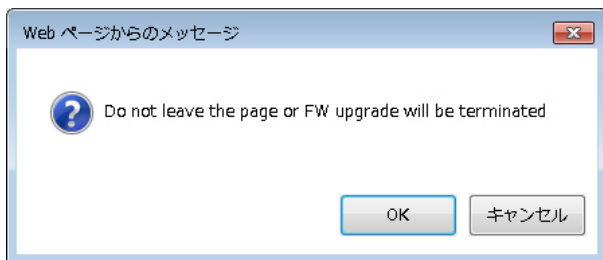
HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

※V6.10.B010 をご利用の場合、[Image ID]の設定に関わらず、新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。
そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

※[Image ID]の設定に関わらず、新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。

- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



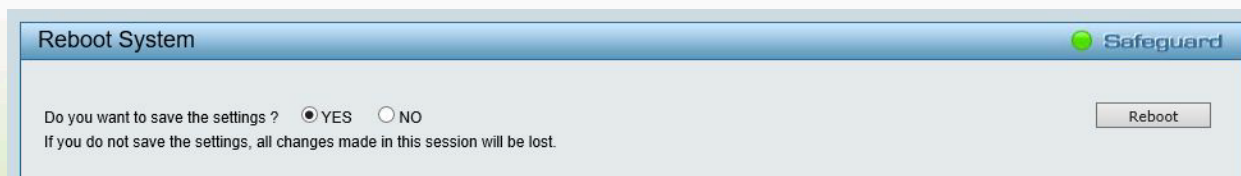
- (4) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

5. [System]>[Firmware Information]を選択します。※V6.00.B023 をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順 6～9 は実施不要です。
6. 新しいイメージ ID を指定し、「Apply」をクリックします。ID の横に*マークが付いている方が現在のブートイメージです。



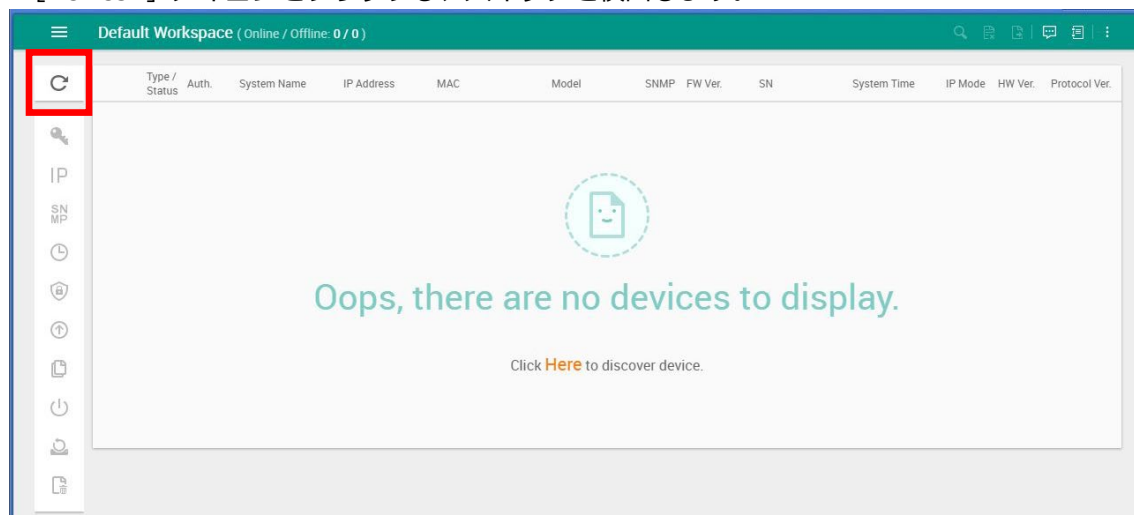
7. [Tools]→[Reboot Device]をクリックします。
8. 以下の画面で「Reboot」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



9. 再度ログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認します。

D-Link Network Assistant を使用するアップグレード

1. D-Link Network Assistant を起動します。
2. [Refresh] アイコンをクリックし、スイッチを検出します。



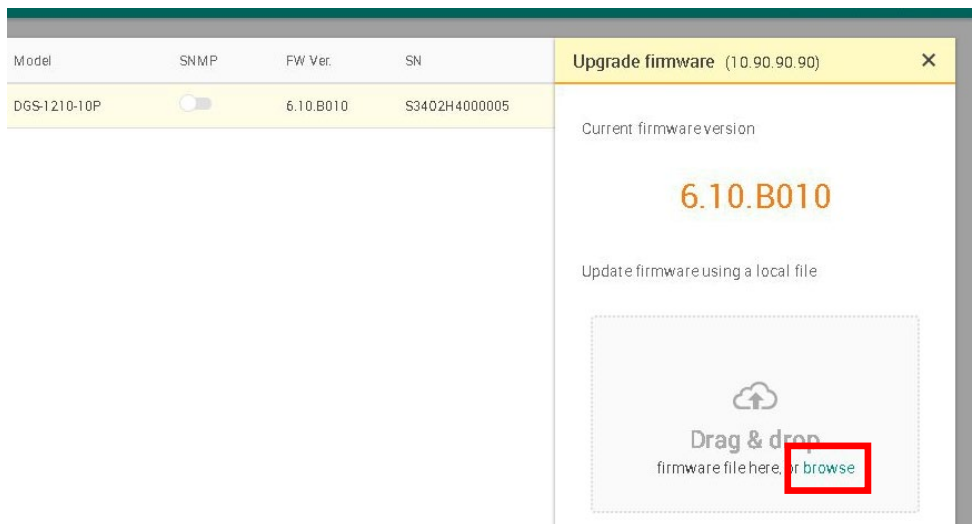
3. アップグレード対象のスイッチにカーソルを合わせ、[Upgrade firmware] アイコンをクリックします。



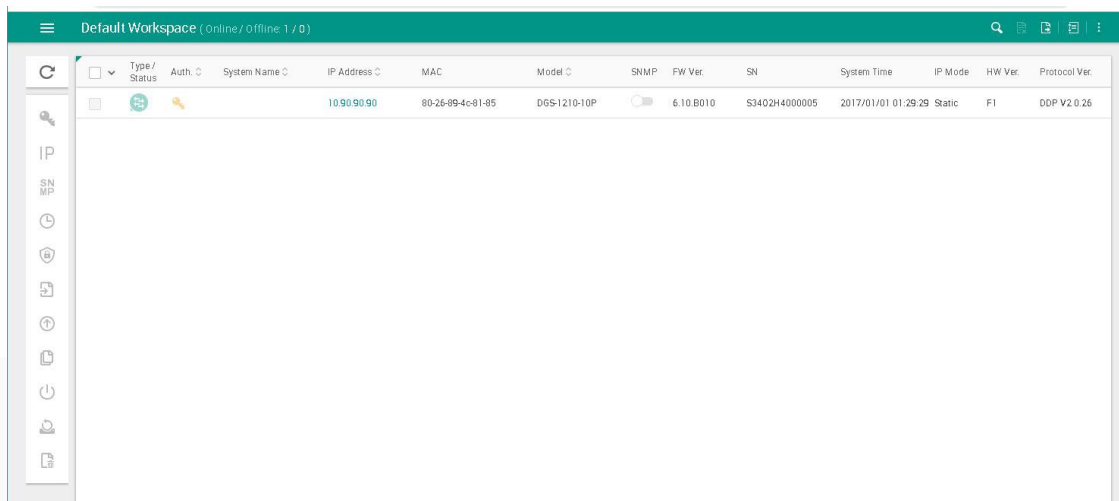
4. [Browse] をクリックしてファームウェアを選択 → [Upgrade now] をクリックします。

※V6.00.B023 をご利用の場合、DNA を使用してアップグレードを行うと、「Image_id 1」に対してアップグレードが実施されます。現在のブートイメージが「Image_id 2」の場合、ファームウェアのダウンロード後、ブートアップの image_id を手動で指定し、再起動する必要があります。

※V6.10.B010 をご利用の場合、[Image ID]の設定に関わらず、新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。



5. 画面が切り替わり、ファームウェアアップグレードが開始されます。



※アップグレード中は「Type / Status」欄のアイコンが処理中であることを示します。アップグレードが完了すると、画面右下に「Successfully upgraded the device firmware for (10.90.90.90).」というメッセージがポップアップ表示されます。

6. アップグレードが完了するとスイッチが再起動されます。スイッチの再起動後に [Refresh] アイコンをクリックし、デバイス情報の FW バージョンが更新されていることを確認します。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R6.11.B034	<ol style="list-style-type: none"> SSH 公開鍵のアップロードに対応致しました。 PD アライブ機能に対応致しました。(DGS-1210-10P/28P) フォーワーディングテーブルのエージングタイム設定に対応致しました。 MIB による CPU 使用率とメモリ使用率の取得に対応致しました。 ループバック検知がグローバルで無効な場合、個別に LBD を有効化したポートに対しても LACP のリンクアグリゲーショングループを設定できるように致しました。

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R6.11.B034	<ol style="list-style-type: none"> CPU 使用率とメモリ使用率の取得に対応致しました。 FDB エージングタイムを更新致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R6.11.B034	<ol style="list-style-type: none"> ループバック検知機能が正しく動作しない問題を修正致しました。 LLDP に関する以下の問題を修正致しました。 <ol style="list-style-type: none"> 常に PSE MDI power state = disabled(0)が送信される問題 不正な値である Power class = 0 が送信される問題 電力供給が行われていない状態にもかかわらず、古い PD リクエスト電力値と PSE 割り当て電力値が送信される問題 スイッチに IPv6 アドレスを設定している場合、自動ログアウト時にシスログメッセージに誤った IPv6 アドレスが表示される問題を修正致しました。 3 ウェイハンドシェイク処理が大量に実行された場合、システムが SYN に応答しなくなる問題を修正致しました。 Telnet で "debug info" を実行した際に、誤ったポート情報が表示される問題を修正致しました。 マルチキャストフィルタリングの有効化時に、マルチキャストトラフィック 01:00:5e:00:00:00 (224.0.0.0) ~ 01:00:5e:00:00:ff (224.0.0.255) が転送されるように修正致しました。 スタティック音声 VLAN とダイナミック音声 VLAN のポート間で、トラフィックが送信されない問題を修正致しました。 バッファの輻輳により、システムの管理インタフェースへの通信が不可になる場合がある問題を修正致しました。 ダイナミック音声 VLAN による通信で、DHCP サーバから IP を取得できない場合がある問題を修正致しました。 スタティック MAC アドレス設定に追加していないデバイスからのネットワークへの通信ができてしまう問題を修正致しました。 Asymmetric VLAN を有効化している場合、IP Port Smart Binding 機能が正しく動作しない問題を修正致しました。

12. アンタグパケットにデフォルトプライオリティが適用されない問題を修正致しました。
13. 音声 VLAN を有効化しているにもかかわらず、デフォルト VLAN 経由で DHCP サーバから IP が取得される問題を修正致しました。
14. ミラーリングポートのパケットに対し、VLAN タグが誤って追加される問題を修正致しました。
15. Power Saving 設定画面で LED Shut-Off または Port Shut Off を有効化しようとする、エラーメッセージが表示され有効化できない問題を修正致しました。
16. VLAN 間ルーティングが正しく動作しない問題を修正致しました。
17. STP 機能および LBD 機能をグローバルで有効化すると、再起動後に STP が無効化される問題を修正致しました。
18. 自動サーベイランス VLAN モードの有効化後、ゲートウェイ設定が 0.0.0.0 にリセットされる問題を修正致しました。
19. Ping を送信すると、複数の重複した応答が返される場合がある問題を修正致しました。
20. LACP モードを有効化している場合、管理インタフェースへの接続に失敗することがある問題を修正致しました。
21. 他のネットワークからの Ping に応答しない問題を修正致しました。
22. DHCP 構成において、デフォルトゲートウェイのアドレスを解決できず、外部ネットワークに接続できなくなる問題を修正致しました。
23. スタティックルートにルート集約のエントリを追加した場合、異なるネットワーク経由での HTTP/Telnet 通信が失敗する問題を修正致しました。
24. DHCP Offer/ACK パケットの MAC アドレスがチェックされず、複数スイッチを同時に電源 ON にすると IP アドレスが競合してしまう問題を修正致しました。
25. DGS-712/E1 を使用している場合、ファイバーポートがリンクアップしない問題を修正致しました。
26. Windows コマンドプロンプトを使用して Telnet 接続を行う場合、画面サイズを初期値の 31 から変更すると、セッションが停止し、システムが再起動する問題を修正致しました。
27. 帯域制御機能で No Limit 項目を Disabled に設定すると、システムが再起動する問題を修正致しました。(DGS-1210-52 のみ)
28. スイッチのファンの音が大きくなる問題について、関連するアルゴリズムの最適化を行いました。
29. VLAN ベースのループ検知が正常に動作しない問題を修正致しました。
30. 一部日本語のローカライズが誤っている問題を修正致しました。
31. 帯域制御設定によりアップロード速度が適切に制御されない問題を修正致しました。
32. Loopback Detection Settings において、Global の状態によらず、Port の状態を変更できるように改善致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R6.11.B034	<ol style="list-style-type: none"> 1. Firmware Upgrade において、Internal Flash への書き込み処理による CPU 高負荷のため、STP/RSP/MSTP、および LACP の動作が不安定になる場合がある問題。 2. 複数の IPv4 Interface を設定した際に、DHCP Relay が適切に機能しない問題。(制限事項) 3. RA に関する機能実装がないため、複数の IPv6 Interface を設定した際に、DHCPv6 Relay が適切に機能しない問題。(制限事項) 4. GARP による ARP テーブルの更新に対応していない問題 (制限事項) 5. MAC アドレス学習において最大テーブル数の 1%以上のロスが発生する問題。(制限事項) 6. CPU インタフェースではジャンボフレームがサポートされない問題。(制限事項) 7. EEE の有効化/無効化により、インタフェースがリンクアップ/リンクダウンする問題。(制限事項) 8. DNA v3.0.2.7 においてアップグレード結果が表示されない問題。(制限事項) 9. ロードモードにおいて SFP インタフェースがサポートされない問題。(制限事項) 10. スイッチを再起動すると、PoE 接続されている IP カメラが検出されない問題。(制限事項) 再起動完了後に PoE を有効化する必要があります。 11. SNMP のウォームスタートトラップがサポートされない問題。 12. LLDP パケットの Protocol Identity の値が適切でない問題。

Copyright 2006-2019 D-Link Japan K.K.